

園児を見守るための LINEによる登園通知



 Bot Express

概要と特徴

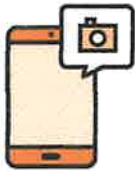
園児が登園したこと（または予定時刻に登園していないこと）を保護者にLINEで通知することにより、通園バス置き去りなどの事故を未然に防止するための仕組みです。

- 専用の装置を購入・設置する必要がありません。
- 新しいアプリのインストール、アカウント作成も不要です。
- サービスを開始するだけで、全国で利用可能になります。

必要なもの



保育園



カメラ付のスマホ

or



カメラ付のタブレット

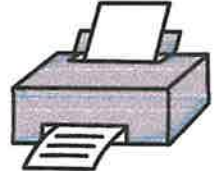


保護者



LINEが
インストールされた
スマホ

and



プリンター
(QRコードをプリントできればOK)



ご家庭でのセットアップ

1

LINEで友達登録



2

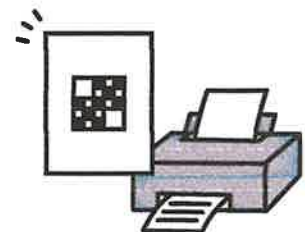
園児を登録

- 氏名
- 登園時刻



3

QRコードをプリント



実際の登録操作

※登園時刻登録は省略しています。



登園の流れ

1

QRコードを持たせて
送り出す



2

バスを降りたら
先生がQRをスキャン



3

もし〇〇分以内に
登園記録が入らないと
保護者にアラートを送信

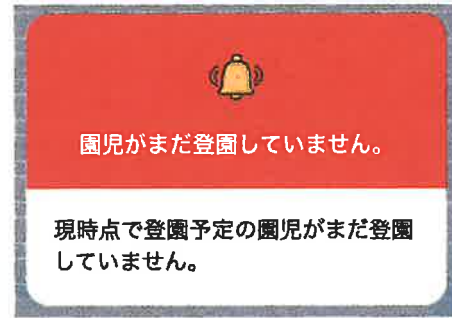


※「登園した」という通知も可能です。

実際の通知例



チェックインした時



予定登園時刻から一定時間内に
チェックインしていない場合

安全性の考察

このLINE通知は単純にQRコードがスキャンされた（あるいは一定時刻にされなかった）ことによって送信されます。そのスキャンが対象の保育園でおこなわれたかどうかという厳密な判定はおこないません。これは今回防止したい事案が「置き去り」であることを考えると、十分な仕組みであると考えられ、厳密な判定をおこなうためにセットアップの手順が増えてしまうより、ほとんどの人が問題なく利用でき、実質的な再発防止効果のあるシンプルな手段を提供することを重要視しているためです。

保育園では「園に入ったらスキャンする」というルールだけ徹底していただければ、機能する仕組みになると思います。

この仕組みは、園が利用することを決めるだけで運用開始でき、これまで安全確認が園のみに依存していたところを、保護者によるダブルチェックが追加されることで少なくとも現状の安全性を改善します。一方、「保護者に通知する」ということで本サービスでの安全性は保護者に依存するサービスです。別のアイデアとしては園児が自身でアラートを出すための車内の警報装置なども考えられると思います。これらはそれぞれ何に依存した手法なのか、長所とリスクを整理して検討していくことが必要だと考えています。

手法ごとの整理

	車載警報器	園による チェックイン管理	LINE通知
危険を発見する人	園児、園	園	保護者
導入のハードル	装置の購入と設置 園児への説明	園でのシステム導入	国・自治体での システム導入
費用・導入可能時期	?	?	次ページ

費用とスケジュール

初期費用： 0円

リリースまでの所要期間： 1～2ヶ月

年間費用：4633万円（税込）

前提

- サービス利用契約となります。成果物、納品物、権利譲渡はありません。
- 一般的な運用保守に該当するサービス（サポート、24/365モニタリング）が含まれます。
- 仕様は原則としてお示しした通りの内容となり、明示されていない機能、サービスは含まれません。
- 職員様用の管理画面へのIDライセンスが5つ含まれます。文言の変更などのカスタマイズが随時可能です。
- カスタマイズをしない限り、職員様側での管理作業は不要です。利用状況は随時管理画面で確認できます。
- 機能の拡張、挙動の変更が必要な場合、随時ご相談ください。
- 毎月払い、または前払い（概算払いなど）となります。

つくろう。愛される行政サービスを。

 **Bot Express**